

研究課題の名称

OAG(OralAssessment Guide)を使用した口腔ケアの効果

研究の目的及び意義

OAG・標準プロトコールを用いたことで、B病棟の患者の口腔内トラブルの状態を把握し、口腔ケアの手技の標準化を図ることでQOL向上につながる。

研究対象者の選定方針

4D病棟に入院中の患者で、以下の要件を満たす患者

「自ら満足な口腔ケアが行えない」「呼吸器を使用、装着していない」「精神状態が安定しており、思疎通が図れる」「10日間以上の入院が予測される患者」「標準プロトコール: 1 ~ 3 適応」

「研究協力に同意を得られた患者」を条件とする。

研究予定期間承認日（2018年4月12日）から西暦2018年12月31日